

欧州に新拠点誕生 物流の効率アップと省エネを同時に実現

2009年1月、欧州でのカシオの事業全体を統括する現地法人「カシオヨーロッパ」の拠点がドイツ、ノーダシュテット市の新商業地区ノードポートに設立されました。物流機能を高めて経費を大幅に削減、さらに環境にも配慮した新社屋を紹介します。

欧州新社屋オフィス棟の前面。
新社屋の面した通りにはCasio Platz(カシオストリート)の名称が付けられている



成長する欧州マーケットに伴い 拡大・分散した拠点を1つに統合

2002年に、これまでイギリスにあった欧州本拠地をドイツへ移して以来、ベルギー・アントワープの倉庫機能をドイツに移転するなど、物流やサービスの拠点、オフィス等の集約を進めてきました。ただ、それらの拠点は同じドイツ国内でもハンブルグ周辺のいくつかの場所に分散していたため、効率アップのための施設の統合が急務でした。



他方では、オランダ、ノルウェー、スペインなど、カシオヨーロッパ傘下の会社設立が相次いだこと、また、それまで日本から営業活動を行っていた欧州のECR(電子レジスター)事業を現地へ移転したことが要因となり、さらなるキャパシティ向上の必要性が生まれていました。

そのような背景で、各拠点を統合し設立されたのがノードポートの新拠点です。

機能強化で効率アップと 大幅なコストダウンを実現

新社屋の総床面積は35,000平方メートルで、物流センターは旧施設のほぼ1.5倍に増えています。

物流拠点である倉庫については、これまで中央倉庫が8,000パレット、残りを外部倉庫で併用していましたが、14,000パレットの中央倉庫が稼働したことによりサイズの大きな電子楽器製品を除き、欧州で取り扱うすべての製品が一つの倉庫に収められるようになります。もちろん、従来分散していた倉庫間の移送や貸し倉庫の確保も必要なくなるため、具体的

新社屋設置によって 得られる削減効果

物流コスト	年間50万ユーロの削減 (従来の倉庫関連費用に対して)
エネルギー消費	30～45%削減 (同規模の一般の建物との比較)
二酸化炭素排出量	年間約1,000トンの削減 (同規模の一般の建物との比較)

ノードポートとは…?



ノーダシュテット市に位置するハンブルグ近郊の新しい商業地区。高速道路の近くにあり、空港や港へのアクセスが良いことが特長で、物流、輸送、サービス、生産分野の関連企業の誘致を積極的におこなっています。

4月6日のオープニングセレモニーには、州知事、市長、在ハンブルグ日本総領事らが出席をされました。また、新社屋見学ツアーが行われるなど、取材に訪れたメディア関係者にも好評で、「今日の経済不況に、カシオは自信と前向きな姿勢でもって立ち向かっている」と報道されました。

には年間50万ユーロのコスト削減につながります。

また、トラックの入出庫ゲートの数を1.6倍に増やすとともに、航空便専用のゲートを新たに設置するなどの施設整備により、これまでは受注から発送まで平均1.1日を要していましたが、今後は、受注のうち6～7割は24時間以内に発送することを目指します。

加えて、オフィス部分では、営業、マーケティング、物流、管理などの各部門が一か所に集約することにより、各部門間のコミュニケーションが円滑になり、さらなる業務の効率化も期待されています。

先端的な地熱利用の冷暖房で CO₂排出量を削減し、省エネに貢献

新社屋のもう一つの特長は、環境配慮型の設備です。地熱利用の冷暖房と空調システムを組み合わせ、効率的かつエネルギー消費を抑えるシステムを実現しました。

新しい冷暖房システムでは、地下約130メートルに埋め込まれた地熱採取装置を利用して、冷やしたり温めたりした水を、天井と床に

埋め込まれたパイプに流しています。地熱は年間を通じて約16℃で安定しており、夏は地下で冷やした冷水によって室内を冷却し、冬は天井と床に流れている冷水を地熱で温めて循環させます。

この地熱システムはメインのパネルヒーティングを補助形で使用し、冷却機やヒートポンプのエネルギー消費を抑えています。併せて、冷やされたり温められたりした天井や床付近の空気を空調で循環させ、部屋全体を一定の温度に保っています。このシステムの導入によって、従来に比べて冷暖房のエネルギー消費が30～45%削減されると見込んでいます。これは二酸化炭素の排出量に換算すると、年間約1,000トンもの排出量削減につながります。温暖化対策に積極的な欧州でも、オフィスビルで本格的に地熱を用いたシステムは先端的です。

この他、採光を調節する半自動開閉ブラインドも採用し、冷暖房や照明設備によって消費される電力を抑制します。また、事務所棟や倉庫の屋上緑化など、今後も環境に配慮した設備づくりを進めていく予定です。